

一般質問…ここが論点

3月定例会

3月市議会定例会中、2日、5日、6日の3日間で、4人の議員が会派を代表して質問し、10人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。



他会計に繰出しをしているモーターボート競走事業特別会計

蒲郡市政クラブ
代表 鎌田篤司

堅実な行財政運営
について

問 財政健全化改革チャレンジ計画の目的は。

答 中期的な財政収支の推計を行い、持続可能な財政構造の確立。また、単年度収支不足の解消、負担の先送りをせず、臨時財政対策債を除き市全体の市債残高10%の削減を目指す。

問 10年後、20年後を見据えて、競艇収益をあてにしない財政計画は。

答 競艇からの繰入金については、事業が長期的には、低落的な傾向にある中で、この財源が続くという前提での運営は危険を伴う。企業誘致を進め、法人市民税の増加を図る等の施策を展開し、代わりの財源確保についても努力したい。

問 競艇ナイターレースの開始時間を繰り下げ等の売り上げ向上策は。

答 現在の午後9時消灯から逆算して、少しでも最終レースの時間が繰り下げできるように検討したい。

こころ豊かな教育の充実について

問 小中学校適正規模・適正配置の考えは。

答 将来、学校の校舎を建て替える時期に、適正な規模や配置を教育委員と市とで協議していきたい。

働く場の確保・産業の振興について

ほ場整備がすすむ大塚千尾地区



問 大塚千尾地区のほ場整備の進捗状況は。

答 総事業費3億1千万円、事業期間5年（平成23〜27年度）を予定している。

問 今後の蒲郡市発展の成否を占う蒲郡港のマイナス11m岸壁整備の現状と今後については。

答 現在、県施工により、240mの岸壁工事を実施しており、ハイブリッドケーソンを5基設置するなどして、26年度末の一部供用を目指している。

問 本町公園の活用を防災の観点から一考を。

答 災害時にも活用できる防災あずまや1基、かまどベンチ2基、収納ベンチ1基を設置。このような設備は、街区公園では初の地域密着型の公園である。

病院の安定経営・住みやすい町づくりについて

問 高齢者、若者の足確保対策として、24年度に公共交通基礎調査が予定されているが、実施の概要と今後の展開は。

答 地域別人口や高齢者数、主要施設の分布状況などを調査し、今後の方向性を決めていきたい。

問 生活保護者への就労支援等の取り組みは。

答 市内の受給者は、23年8月時点で過去最高の462世帯602人。生活費等を給付するだけでは解決にならないので、就労支援の強化を図るとともに、自立助長の支援を行いたい。

問 津波からの一時的避難ビルの指定は。

答 現在、構造的、位置的要件から候補を選定中。指定後は、非常時に活用で